

音声ガイド：地獄周辺の植生

温泉に近づき、硫黄の臭いがし始めると、訪れた人はすぐに、ここが泡立ち地獄と呼ばれる理由を知ることができる。硫黄ガス、摂氏 100 度近い水温、酸性度が強い土壌のもとで植物が育つことを不思議に思うかもしれない。だが、ご覧のように身の回りには独自に繁栄する生態系がある。

地獄の周りの植物はこの厳しい環境に適応している。ここで育つ植物の中でもっとも背が高いのは赤松だ。その下には低木のタカノツメや、ミヤマキリシマのようなツツジが何種類か生育している。ミヤマキリシマは、4 月後半にピンクの花を咲かせる。その他では赤い幹をねじらせた楕円形のネジキ、そしてブルーベリーと同じ仲間、実がなる低木シャシャンボがある。

植物は湧き出る熱湯や、ガス噴出口のすぐそばでも生きていける。ススキや、背の高いラッシュグラスは、このような温泉のそばだけで見られる丈夫な植物だ。